

平成21年度 科学研究費補助金（学術創成研究費）
事後評価結果

研究課題名	ナノ構造と活性アニオンを利用した透明酸化物の機能開拓	研究代表者名 (所属・職)	細野 秀雄(東京工業大学・フロンティア研究センター・教授)
-------	----------------------------	------------------	-------------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
○	A+	期待以上の研究の進展があった
	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題は「ありふれた元素」から構成された絶縁性物質(C12A7)の物性について幅広く研究したものであるが、一連の研究から金属-絶縁体転移や金属-超伝導転移の発見、大量合成法の開発、単結晶作成や成膜法の開発、電子放出用カソード材料の開発など基礎研究から実用研究にわたって、めざましい研究成果をあげた。これらの話題は一つを取っても物性物理学・物性科学分野の中心的・主導的な課題であり、当該学問分野はもとより関連学問分野への波及的貢献度は極めて高い。

また、国際的に評価の高い論文誌・国際会議での学術報告をはじめ、特許取得や新聞・テレビを通じた積極的普及を図っている。

このように本研究課題では、当初の研究目的以上の優れた成果が得られており、学術創成研究費として十分に意義のある成果である。